



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社マナック・ケミカル・パートナーズ

上場取引所 東

コード番号 4360 URL <https://mcps.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 財務室長 (氏名) 吉田 誠吾

TEL 03-5931-0554

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,657	16.7	819	103.6	991	88.4	809	87.4
2022年3月期第3四半期	7,419		402		526		432	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 773百万円 (113.5%) 2022年3月期第3四半期 362百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	101.90	
2022年3月期第3四半期	54.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,474	10,984	71.0
2022年3月期	13,585	10,293	75.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,984百万円 2022年3月期 10,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				7.50	7.50
2023年3月期		7.50			
2023年3月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2021年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期末の実績はありません。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,070	12.8	1,010	36.5	1,190	35.1	950	33.4	119.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,625,000 株	2022年3月期	8,625,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	652,663 株	2022年3月期	711,583 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,946,876 株	2022年3月期3Q	7,860,726 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展による行動制限の緩和等により緩やかな回復基調で推移しましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立たず、先行き不透明な状況が続きました。世界経済につきましては、ウクライナ情勢の緊迫化、原材料・燃料エネルギー等の価格高騰、為替変動等先行きの不透明感が高まりました。

このような環境の下で当社グループは、国内外の市場における顧客への取引深耕にグループが一体となり積極的に取組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,657百万円（前年同四半期比+1,238百万円、16.7%増）、営業利益は819百万円（同+417百万円、103.6%増）、経常利益は991百万円（同+464百万円、88.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は809百万円（同+377百万円、87.4%増）となりました。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、電子材料製品や工業薬品等は安定した需要を維持いたしました。また、高収益製品の販売が増加したことも利益面に貢献いたしました。一方で、連結子会社である八幸通商株式会社における一部製品は需要が減少いたしました。

その結果、売上高は3,050百万円（前年同四半期比+57百万円、1.9%増）、セグメント利益は782百万円（同+357百万円、84.2%増）となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、昨年来の原燃料価格等の高騰はあったものの、電子材料部材や家電製品に使用されるプラスチック用難燃剤等の需要は堅調に推移いたしました。また、円安による為替の影響も追い風になりました。

その結果、売上高は4,666百万円（前年同四半期比+1,155百万円、32.8%増）、セグメント利益は1,112百万円（同+504百万円、83.0%増）となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、各種原材料価格の高騰はあったものの、主力の人工透析用原料は安定した国内需要を維持いたしました。また、広島大学と共同開発（特許取得）し製品化した固定化抗菌剤「E t a k®」の需要は落ち着いてまいりました。

その結果、売上高は940百万円（前年同四半期比+25百万円、2.8%増）、セグメント利益は36百万円（同△92百万円、71.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,889百万円増加し、15,474百万円となりました。これは主に、今後の販売に備えて棚卸資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,198百万円増加し、4,490百万円となりました。これは主に、原材料仕入等に伴う買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて690百万円増加し、10,984百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」において公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「2023年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,044	3,371
受取手形及び売掛金	3,684	3,870
電子記録債権	304	371
商品及び製品	1,098	1,769
仕掛品	343	479
原材料及び貯蔵品	576	827
その他	382	243
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	8,432	10,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	645	610
機械装置及び運搬具(純額)	1,164	1,013
土地	906	711
建設仮勘定	76	121
その他(純額)	170	160
有形固定資産合計	2,963	2,617
無形固定資産	231	208
投資その他の資産		
投資有価証券	1,657	1,461
繰延税金資産	65	43
その他	235	211
投資その他の資産合計	1,958	1,716
固定資産合計	5,153	4,542
資産合計	13,585	15,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,925	3,003
短期借入金	291	312
未払法人税等	36	145
賞与引当金	165	86
その他	781	869
流動負債合計	3,199	4,418
固定負債		
役員退職慰労引当金	7	—
繰延税金負債	51	37
その他	32	34
固定負債合計	91	72
負債合計	3,291	4,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	3,465	3,459
利益剰余金	6,865	7,556
自己株式	△517	△474
株主資本合計	10,113	10,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	140
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	6	3
その他の包括利益累計額合計	179	143
純資産合計	10,293	10,984
負債純資産合計	13,585	15,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,419	8,657
売上原価	5,758	6,488
売上総利益	1,661	2,168
販売費及び一般管理費	1,258	1,349
営業利益	402	819
営業外収益		
受取利息及び配当金	41	42
助成金収入	28	56
保険解約返戻金	30	33
その他	28	57
営業外収益合計	129	190
営業外費用		
支払利息	1	—
為替差損	2	4
棚卸資産処分損	—	11
その他	1	2
営業外費用合計	5	18
経常利益	526	991
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	54	108
特別利益合計	54	108
特別損失		
固定資産除却損	0	2
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	579	1,097
法人税、住民税及び事業税	79	265
法人税等調整額	67	22
法人税等合計	147	287
四半期純利益	432	809
親会社株主に帰属する四半期純利益	432	809

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	432	809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	△34
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	3	△2
その他の包括利益合計	△70	△36
四半期包括利益	362	773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362	773

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があったの注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,993	3,511	914	7,419
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,993	3,511	914	7,419
セグメント利益	424	607	129	1,161

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,161
全社費用(注)	△759
四半期連結損益計算書の営業利益	402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,050	4,666	940	8,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,050	4,666	940	8,657
セグメント利益	782	1,112	36	1,930

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,930
全社費用(注)	△1,111
四半期連結損益計算書の営業利益	819

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。